平成25年10月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年６月12日

上 場 会 社 名　株式会社ウイルコホールディングス　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　7831　　ＵＲＬ　http://www.wellco-corp.com
代　　表　　者　（役職名）代表取締役会長兼社長　（氏名）　若林　裕紀子
問合せ先責任者　（役職名）財務部長　（氏名）　見山　英雄　(TEL)076(277)9831

四半期報告書提出予定日　平成25年６月13日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年10月期第２四半期の連結業績（平成24年11月１日～平成25年４月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第２四半期	6,895	△32.8	246	－	310	－	2	－
24年10月期第２四半期	10,263	2.4	△211	－	△199	－	△152	－

（注）包括利益　25年10月期第２四半期　100百万円（－%）　24年10月期第２四半期△122百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年10月期第２四半期	0.09	－
24年10月期第２四半期	△6.21	－

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年10月期第２四半期	12,259	5,962	48.6
24年10月期	12,906	5,861	45.4

（参考）自己資本　25年10月期第２四半期　5,962百万円　24年10月期　5,861百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	－	0.00	－	0.00	0.00
25年10月期	－	0.00			
25年10月期(予想)			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年10月期の連結業績予想（平成24年11月１日～平成25年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　　期	13,600	△15.5	366	－	430	－	100	△93.6	4.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

４．その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ：無
② ①以外の会計方針の変更 ：無
③ 会計上の見積りの変更 ：無
④ 修正再表示 ：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年10月期２Ｑ	24,650,800株	24年10月期	24,650,800株
② 期末自己株式数	25年10月期２Ｑ	2,540株	24年10月期	2,540株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年10月期２Ｑ	24,648,260株	24年10月期２Ｑ	24,649,194株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現在入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報……P. 2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報……P. 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報……P. 2
(3)　連結業績予想に関する定性的情報……P. 3

２．サマリー情報（その他）に関する事項……P. 3

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動……P. 3
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用……P. 3
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示……P. 3

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要……P. 3

４．その他……P. 3

５．四半期連結財務諸表……P. 4

(1)　四半期連結貸借対照表……P. 4
(2)　四半期連結損益及び包括利益計算書……P. 6
(3)　継続企業の前提に関する注記……P. 8
(4)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記……P. 8

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成24年11月１日～平成25年４月30日）における我が国経済は、平成 24年10-12 月期のＧＤＰ成長率が名目で0.3%、実質で 1.0%、平成 25年 1-3 月期のＧＤＰ成長率が名目で2.2%、実質で 4.1%とともに２四半期連続のプラス成長となりましたが、２四半期とも実質成長率が名目成長率を上回っており、依然デフレ基調の中にあります。昨年の政権交代以降、日銀の異次元金融緩和により、円高の修正と株式市場の活況は進みましたが、これらの効果が浸透し、持続的成長につながっていくには、設備投資や個人消費の増加が必要であり、少し時間を要するものと思われます。一方、足下では、円安による用紙等の原材料や電力費・燃料費等の上昇が、製造原価を押し上げる要因となってきました。

当社グループにおいては、昨年５月１日付でダイレクト・マーケティング事業を新設分割会社として設立のうえ、その全株式を譲渡し同社を連結の範囲から除外したことにより、当社グループの営む事業は情報・印刷事業のみとなりました。

このような環境の中、情報・印刷事業は前期より営業強化と業務改善の徹底を継続しており、２月・３月の反動から４月は若干の落ち込みが見られましたが、当第２四半期連結会計期間は、第１四半期同様増収増益となりました。特に営業面では、当社独自のインラインシステムを使い、競合他社にない優位性の高いＶＡ商品（インラインシール・カンガルーチラシ等）の積極展開により、大手の出版会社やカーディーラーとの新規取引を獲得し、同様商品の横展開を鋭意推進しております。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は6,895,060千円と前年同四半期と比べ3,368,711千円（32.8%減）と大幅な減少となった一方、営業利益は246,934千円（前年同四半期営業損失211,487千円）と大幅な増益となりました。

売上高の減少は、上記のとおり昨年５月１日付で、ダイレクト・マーケティング事業を譲渡したことにより、前年同四半期累計期間における同事業の売上高4,327,573千円の計上がないことが主な原因であり、当該金額を控除した情報・印刷事業の前年同四半期累計期間の売上高と比較すると、958,862千円（16.2%増）の大幅な増収となっております。

（ご参考）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間	当第２四半期連結累計期間	前年同期比	増減率
情報・印刷事業	5,936,198	6,895,060	958,862	16.2%
ダイレクト・マーケティング事業	4,327,573	－	△4,327,573	－
売上高	10,263,772	6,895,060	△3,368,711	△32.8%
情報・印刷事業	7,674	447,571	439,897	5,732.0%
ダイレクト・マーケティング事業	49,826	－	△49,826	－
セグメント利益	57,500	447,571	390,070	678.4%
全社費用	268,988	200,636	△68,351	△25.4%
営業利益又は営業損失（△）	△211,487	246,934	458,422	－

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は12,259,291千円と、前連結会計年度末に比べて647,442千円減少いたしました。これは主として、現金及び預金の減少135,071千円、貸倒引当金の減少151,474千円、その他（流動資産）の減少672,290千円によるものであります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債合計は6,297,174千円と、前連結会計年度末に比べて748,229千円減少いたしました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加1,530,301千円、ファクタリング未払金の減少1,866,547千円、預り金の減少554,375千円によるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は5,962,117千円と、前連結会計年度末に比べて100,787千円増加いたしました。これは主として、利益剰余金の増加2,180千円、その他有価証券評価差額金の増加108,025千円によるものであります。

(3)　連結業績予想に関する定性的情報

平成25年10月期通期の業績予想につきましては、平成25年６月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、過去において連続して営業損失を計上しており、当第２四半期連結累計期間において、営業利益、経常利益および四半期純利益を計上しているものの、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が、引き続き存在しております。

当社グループは、当該状況を改善・解消すべく、以下の施策を実施することにより、収益性の改善と財務体質の強化を図ることにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

①新規顧客の獲得・既存得意先のシェア拡大、同業他社との深耕、ターゲットを絞った営業提案による売上の拡大と利益の向上を図ってまいります。

②高付加価値製品の開発・投入による事業領域の拡大を含めた売上の増進と利益の向上を図ってまいります。

③人材育成による営業力・品質の向上による業務効率の向上を図ってまいります。

④内製率の向上及び設備保全の強化による原価の低減を図ってまいります。

４．その他

訴訟事件等について

当社を被告として、６件（損害賠償等請求額合計2,945,019千円）の損害賠償等請求訴訟が係争中であります。これらの訴訟は、いずれも低料第三種郵便の利用に関するもので、日本郵便株式会社より、損害を被ったと主張し、当社に損害賠償を請求するもの、株式会社博報堂より求償金の請求を求めるものとなっております。

これらの訴訟は、現在、係争中であり、当該訴訟の最終的な結論は現在のところ得られておりませんが、今後、当社にとって不利な判決がなされた場合は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

５．四半期連結財務諸表

(1)　四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年４月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	2,873,919	2,738,848
受取手形及び売掛金	3,190,912	3,210,825
商品及び製品	103,772	117,340
仕掛品	54,681	68,395
原材料及び貯蔵品	192,424	280,802
その他	818,795	146,505
貸倒引当金	△84,899	△69,624
流動資産合計	7,149,607	6,493,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,416,845	1,368,135
機械装置及び運搬具（純額）	932,677	929,504
土地	2,131,532	2,131,532
その他（純額）	384,560	346,271
有形固定資産合計	4,865,615	4,775,443
無形固定資産	51,157	41,326
投資その他の資産		
投資有価証券	652,254	764,873
その他	469,214	329,468
貸倒引当金	△281,114	△144,914
投資その他の資産合計	840,353	949,428
固定資産合計	5,757,126	5,766,198
資産合計	12,906,733	12,259,291
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,433,369	2,963,671
短期借入金	587,147	482,716
ファクタリング未払金	2,605,494	738,947
未払法人税等	16,631	89,073
預り金	561,777	7,402
賞与引当金	38,178	45,002
その他	603,394	691,892
流動負債合計	5,845,993	5,018,704
固定負債		
長期借入金	323,718	196,002
リース債務	301,730	271,272
退職給付引当金	246,117	257,230
訴訟損失引当金	―	183,000
繰延税金負債	316,181	359,081
資産除去債務	9,366	9,406
その他	2,296	2,476
固定負債合計	1,199,410	1,278,469
負債合計	7,045,404	6,297,174
(純資産の部)		

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年10月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年４月30日）
株主資本		
資本金	1,667,625	1,667,625
資本剰余金	1,759,449	1,759,449
利益剰余金	2,542,247	2,544,427
自己株式	△608	△608
株主資本合計	5,968,713	5,970,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,694	95,331
為替換算調整勘定	△94,688	△104,107
その他の包括利益累計額合計	△107,383	△8,776
純資産合計	5,861,329	5,962,117
負債純資産合計	12,906,733	12,259,291

(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年11月１日 至　平成24年４月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年11月１日 至　平成25年４月30日)
売上高	10,263,772	6,895,060
売上原価	6,350,589	5,695,290
売上総利益	3,913,183	1,199,770
販売費及び一般管理費	4,124,670	952,835
営業利益又は営業損失（△）	△211,487	246,934
営業外収益		
受取利息	1,204	573
受取配当金	6,722	8,129
受取賃貸料	17,760	10,868
為替差益	6,668	41,683
その他	20,953	31,788
営業外収益合計	53,310	93,044
営業外費用		
支払利息	27,406	15,341
不動産賃貸原価	8,328	8,840
その他	6,056	5,311
営業外費用合計	41,791	29,492
経常利益又は経常損失（△）	△199,969	310,485
特別利益		
固定資産売却益	269	－
投資有価証券売却益	－	21,083
役員退職慰労引当金戻入額	31,720	－
特別利益合計	31,989	21,083
特別損失		
固定資産除却損	2,318	104
貸倒引当金繰入額	7,340	－
訴訟和解金	－	55,823
訴訟損失引当金繰入額	－	183,000
関係会社整理損	－	5,169
ゴルフ会員権評価損	6,397	－
その他	596	－
特別損失合計	16,652	244,097
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△184,631	87,471
法人税等	△31,655	85,290
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△152,976	2,180
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△152,976	2,180

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年４月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年11月１日 至　平成25年４月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△152,976	2,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,401	108,025
為替換算調整勘定	△345	△9,419
その他の包括利益合計	30,056	98,606
四半期包括利益	△122,919	100,787
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△119,085	100,787
少数株主に係る四半期包括利益	△3,834	－

(3)　継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。